

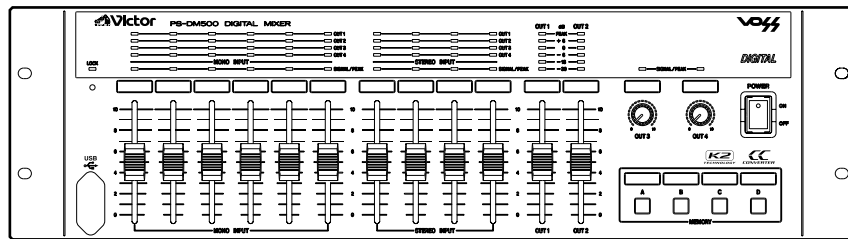


Victor

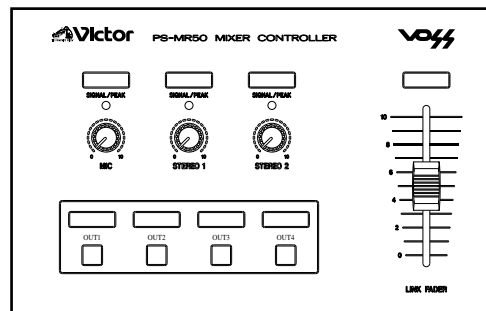
デジタルミキサー／ミキサーコントローラー

型名 PS-DM500 PS-MR50

取扱説明書



デジタルミキサー
PS-DM500



ミキサーコントローラー
PS-MR50



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

はじめに

特長

- ✔ **デジタル音声の音質向上を追及するK2テクノロジー**
K2テクノロジーは、デジタル信号の伝送過程やメディアに起因する音質劣化の要因を解消させ、自然な再生を可能とするコーディング技術です。
- ✔ **CCコンバーター搭載**
日本ビクター独自のExtended K2 技術から生まれたCCコンバーターを搭載。
デジタル入力信号に対して、サンプリング前のアナログ原音信号を想定しながらハイビット(高量子化)・ハイサンプリング(広帯域化)処理をすることで、高音質化処理能力をたかめました。
- ✔ **プリセット型16パターンメモリー搭載**
多用する設定をパターン化し、メモリーに記憶することで設定変更への対応が簡単にできます。
- ✔ **トランス採用の入力回路を搭載**
コンピューター音声などの接続用として、優れたアイソレーショントランスを有する入力回路を1回路搭載しています。
- ✔ **デジタル(光)信号入力、デジタル(光)録音出力を用意**
デジタル機器(CD・DVDなど)と高品位デジタル信号を光信号で直接接続することができます。
- ✔ **ミキサーコントローラーPS-MR50(別売)による遠隔入力/制御可能**
入力信号(マイク・音楽入力)や、出力選択、音量調節などをリモートコントロールできます。
- ✔ **天面設置/前面設置に対応**
接続端子部は設置方法や利用方法に応じて背面、上面に移動して利用できます。
- ✔ **多彩なパラメータープリセット型デジタルエフェクター内蔵**
 - **デジタルイコライザー**
MONO INPUT すべての入力系統にLOW、HIGH、MIDのデジタルイコライザー、STEREO INPUT 全ての入力系統にLOW、HIGHのデジタルイコライザーを搭載しています。
OUTPUT系統には、最大6素子のデジタルイコライザーを搭載しており、システムに対応した最適なフィルターを選択することができます。
また、周波数(F)、尖鋭度(Q)、利得(G)などが設定できる極めて自由度の高いイコライザーシステムを搭載しています。
 - **多様なハウリングサプレッサー内蔵**
自動設定できる4素子のプリセットフィルターを内蔵しています。
また、運用中に発生するハウリングには、内蔵2素子のアクティブフィルターが音声信号を常時監視し、ハウリング発生を自動抑制し、快適なサウンドシステムを演出します。
 - **自動ミュート機能**
アナウンスミュート・ミュージックミュートは、必要なマイク放送・音楽放送が入力されると自動的に指定した音源をミュートしますので、的確な放送演出が行えます。
 - **デジタルディレイ**
各出力系統の遅延時間の設定ができます。
この機能により各出力の遅延時間を調整することで、音の到達時間差異を改善することができます。そのため、確かな音像定位とクリアーな高音質サウンドシステムを実現しました。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	3
正しくお使いいただくためのご注意	4
取扱説明書・ユーザズガイドについて	4
添付物・付属品	4
デジタルミキサー PS-DM500	4
ミキサーコントローラー PS-MR50	4

デジタルミキサー PS-DM500

各部の名称とはたらき	5
操作部	5
接続端子部	7

ミキサーコントローラー PS-MR50 (別売)

各部の名称とはたらき	8
操作部	8
接続端子部	9

接 続

接続コネクタおよびケーブルについて	10
接続端子部の移動	11
デジタルミキサー PS-DM500	11
ミキサーコントローラー PS-MR50	11
設置場所への固定 (PS-MR50)	12

システム設定

デジタルエフェクト機能について	12
「ユーザズガイド」をみる	15
「Sound Coordinator」(サウンドコーディネーター)のインストール	16
USB ドライバーのインストール	18
「Sound Coordinator」(サウンドコーディネーター)の起動	19

その他

ブロック図	20
システム接続例	22
仕様	23
デジタルミキサー PS-DM500	23
ミキサーコントローラー PS-MR50	23
保証とアフターサービス	裏表紙

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製などをおこなうことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。

はじめに (つづき)

正しくお使いいただくためのご注意

■ 保管および設置場所

次のような場所での保管・使用は避けてください。不安定な動作や故障の原因となることがあります。

- ・ 許容動作温度(5℃～40℃)の範囲外の場所
- ・ 許容動作湿度(30%～85%)の範囲外の場所
- ・ 変圧器やモーターなど強い磁気を発生する場所
- ・ 埃や砂塵の多い場所、振動や揺れが激しい場所
- ・ 放射線やX線、腐食性ガスの発生する場所

■ 配線について

- ・ 電源コードやスピーカー線などの電力線とマイクケーブルの信号線はできるだけ離して設置してください。信号線に電線からのノイズや誘導による影響があり、本来の性能が著しく悪化します。

■ 電源スイッチのON(入)、OFF(切)について

- ・ 電源を入れるときはパワーアンプの電源を最後に入れてください。また、切るときはパワーアンプの電源を最初に切ってください。電源入り切り時のノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

■ 節電のため長時間使用しないときは、電源スイッチを切って(OFF)ください。

取扱説明書・ユーザーズガイドについて

■ 取扱説明書(本書)

操作部名称と機能、接続端子、仕様などを説明していますので、基本的な操作や接続をご理解頂けます。

また、デジタルエフェクト機能の概要、およびパラメーター設定のソフトウェア「Sound Coordinator」(以下「サウンドコーディネーター」と表記)のインストール方法、起動方法などを説明しています。

■ ユーザーズガイド(添付CD-ROM)

ユーザーズガイドには、デジタルミキサー **PS-DM500** に搭載しているデジタルエフェクト機能やコントロール機能をパーソナルコンピューターから設定するソフトウェア「サウンドコーディネーター」およびシステム設定の詳細方法について説明したhtml ファイルを収録しています。本機のデジタルエフェクト機能を有効に利用して頂くために、必ずご覧ください。設定を行わないと工場出荷状態で動作します。

添付物・付属品

デジタルミキサー PS-DM500

・ 取扱説明書(本書)	× 1
・ CD-ROM	× 1
・ 保証書	× 1
・ サービス窓口案内	× 1
・ 安全上のご注意	× 1
・ ラックマウントねじ(M5)	× 4
・ フット	× 4

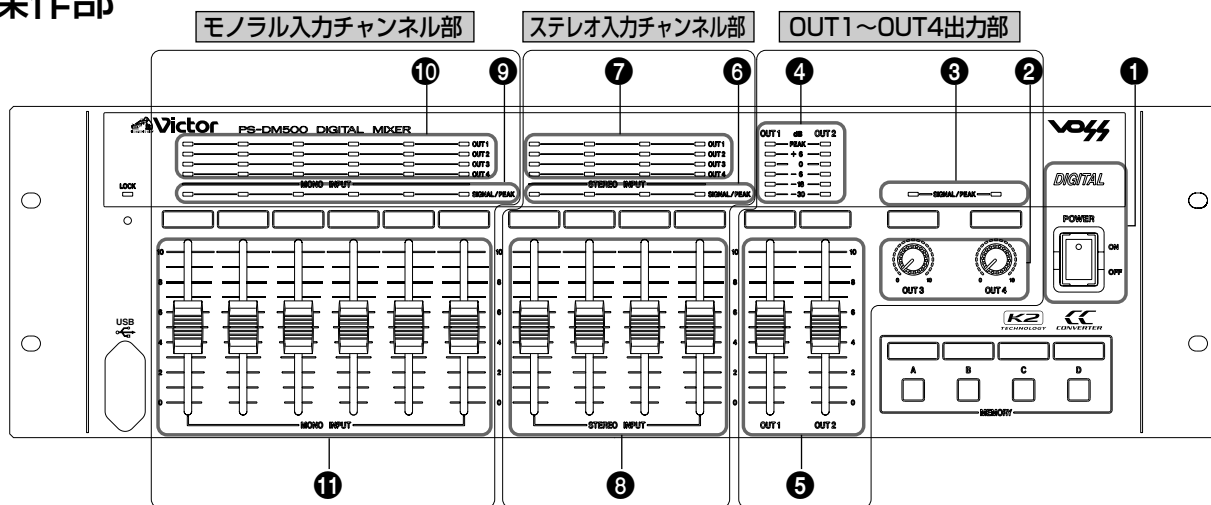
ミキサーコントローラー PS-MR50

・ 設置説明書	× 1
・ 保証書	× 1
・ ビクターサービス窓口案内	× 1
・ ブラケット	× 2
・ スクリュー(M3)黒色	× 4
・ ウッドスクリュー(呼び径3)	× 4
・ I/F 基板	× 1
・ ワイヤ ASSY	× 1
・ ワイヤクランプ	× 2
・ スクリュー(M3)銀色	× 2
・ フット	× 4

デジタルミキサー PS-DM500

各部の名称とはたらき

■ 操作部



- ① [POWER/DIGITAL] 電源 ON/OFF スイッチ およびランプ
電源ON/OFFスイッチです。ONにすると“DIGITAL”の文字が点灯します。

OUT1~OUT4 出力部

- ② [OUT3、OUT4] OUT3、OUT4出力音量調節つまみ
OUT3、OUT4の出力音量を調節します。
- ③ [SIGNAL/PEAK] OUT3、OUT4出力信号ランプ
OUT3、OUT4の出力信号のレベルを表示します。
- ④ [OUT1、OUT2] 出力レベルメーター
OUT1、OUT2の出力信号のレベルを表示します。
- ⑤ [OUT1、OUT2] OUT1、OUT2出力音量調節フェーダーつまみ
OUT1、OUT2の出力音量を調節します。

STEREO INPUT ステレオ入力チャンネル部

- ⑥ [SIGNAL/PEAK] STEREO INPUT 入力信号ランプ
STEREO INPUTに信号が入力されると緑色に点灯します。赤色に点灯した場合は入力信号のレベルが過大です。入力機器の出力レベルを下げてください。
※OPTICAL入力を使用時は、使用する音源により赤色に点灯する場合がありますが、本機の許容範囲内ですので通常どおり使用できます。
- ⑦ [OUT1 ~ OUT4] STEREO INPUT/ アウトプットマトリックスランプ
マトリックスが出力される系統はオレンジ色に点灯します。

- ⑧ [STEREO INPUT] STEREO INPUT フェーダーつまみ
CD、カセット、MDなどのステレオ入力信号音量を調節します。

MONO INPUTモノラル入力チャンネル部

- ⑨ [SIGNAL/PEAK] MONO INPUT 入力信号ランプ
MONO INPUTに信号が入力されると緑色に点灯します。ランプが赤色に点灯した場合は、入力信号のレベルが過大です。入力機器の出力レベルを下げるか、本機背面の入力PADボタン(※7ページ ①)を“ON”にして入力信号を減衰させてお使いください。
細かい設定は「サウンドコーディネーター」の“INPUT TRIM”(入力感度)で行うことができます。
- ⑩ [MONO INPUT OUT1 ~ OUT4] MONO INPUT/ アウトプットマトリックスランプ
出力される系統はオレンジ色に点灯します。
- ⑪ [MONO INPUT] MONO INPUT フェーダーつまみ
各マイクロホンなど、モノラル入力音量を調節します。

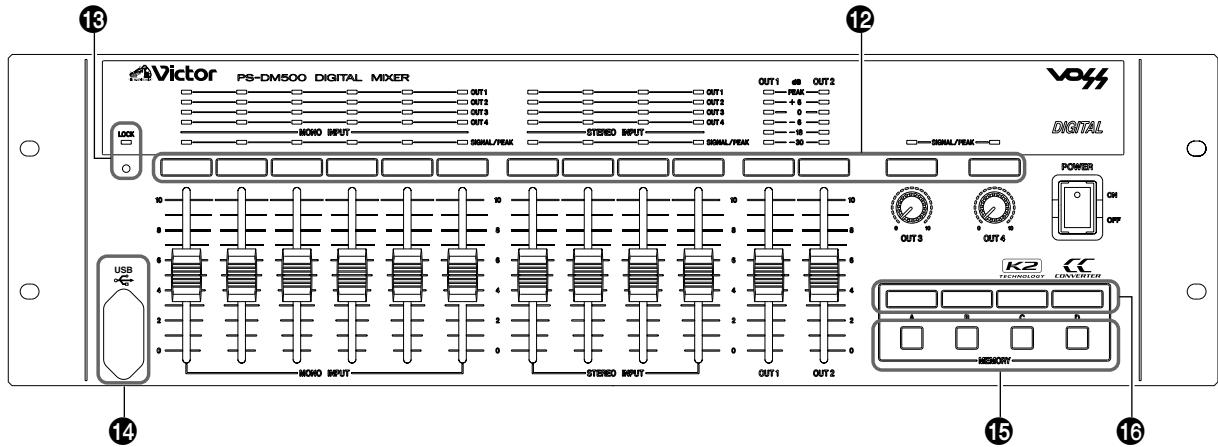
メモ

- アウトプットマトリックスの選択
各アウトプットマトリックス ⑦、⑩ を選択することができます。選択は以下の手順で行います。
 - ① 設定するチャンネルのフェーダーつまみを「0」位置へ向って下げながらアウトプットする出力番号に対応したメモリーパターン切換スイッチ ⑫ を3秒以上押しつづけます。“A”はOUT1、“B”はOUT2、“C”はOUT3、“D”はOUT4
 - ② 各入力チャンネルごとに設定します。
 - ③ 出力するOUTPUT番号のマトリックスランプが点灯します。
※本機能で設定した内容は、内部メモリーに保存されません。電源を入れなおすと解除されます。

デジタルミキサー PS-DM500(つづき)

各部の名称とはたらき(つづき)

■ 操作部



12 入力および出力機器名称表示部

入力および出力機器の名称を表示する場所です。入力機器名称部には、マイクロホン番号・CD・カセット・MDなどの接続機器名称、出力名称表示部には出力チャンネル名・パワーアンプラック番号・スピーカー名などシステムに対応した出力名称を表示します。ラベルテープなどでシールを作成し、はり付けてご使用ください。表示部のサイズは、幅18 mm×高さ6 mmです。

13 [LOCK] ロックスイッチ

フェーダーつまみ、メモリーパターン切換スイッチの動作を無効にするスイッチです。音量調節およびパターン選択設定後に、ロックスイッチを先端の細い棒で押します。ロック表示灯が「赤色」点灯し、フェーダーつまみやパターンスイッチによる操作ができなくなります。(ロック状態:ロック表示灯点灯)
再度、ロックスイッチを押すとフェーダーつまみ、メモリーパターン切換スイッチの操作が有効になります。(ロック解除状態:ロック表示灯消灯)
「サウンドコーディネーター」(※19ページ)により、ロック状態でもフェーダー操作を有効にすることができます。ロック状態にしてから電源を切り、再度電源を入れるとロックした時点のメモリーパターンが呼び出されます。ロックする場合、「サウンドコーディネーター」でメモリーパターンを保存してから行ってください。

14 [USB] パソコン接続端子(USB Type B)

「サウンドコーディネーター」によるシステム設定時に使用するパソコンとの接続端子(USB)です。
※背面部の「RS-232C」端子(※7ページ)と同時には使用することはできません。

15 [MEMORY A, B, C, D] メモリーパターン切換スイッチ

●メモリーパターンの呼び出し

約2秒間長押しすると、各スイッチに割り付けられたパターンが呼び出され、設定されたパラメーターに瞬時に切り換わります。各スイッチへのパターン設定は、「サウンドコーディネーター」で行います。工場出荷時、A~Dには同一パターンを記録してあります。(※12~14ページ)

メモ

- メモリーパターン切換スイッチを長押しすると点灯します。本機の電源を切り、次に電源を入れると消灯しますが、設定は維持しています。

16 パターン名称表示部

パターンの名称を表示できます。メモリーパターン切換スイッチ15に設定されている各パターンの名称を表示します。ラベルテープなどでシールを作成し、はり付けてご使用ください。表示部のサイズは、幅18 mm×高さ6 mmです。

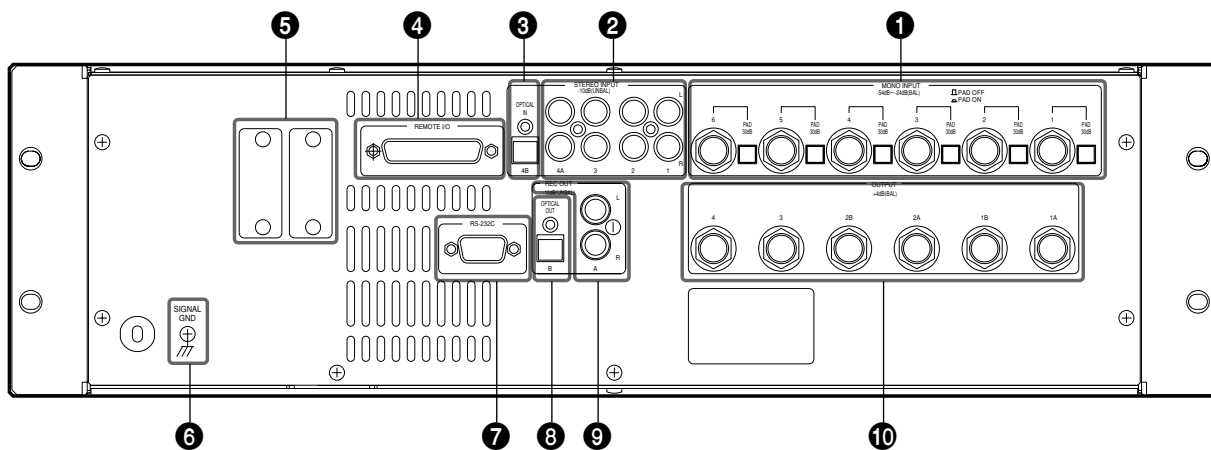
メモ

- ロックスイッチ13で、ロックした位置より大きな音量位置で解除した場合、ロック時の音量が保持されています。ロック解除後、音量を上げたい場合は、一度、ロックした位置より下げた後、音量調節をしてください。

■ 接続端子部

接続コネクタおよびケーブルの詳細につきましては、10ページ「接続コネクタおよびケーブルについて」をご覧ください。

設置する場所により、接続端子部を移動させることができます。(☞11ページ)



① [MONO INPUT 1~6]モノラル入力端子 1~6 (φ6.3複式フォンジャック)

マイクロホンなどのモノラル出力機器を接続します。PC音声はMONO INPUT6に接続してください。

[PAD 30 dB]入力PADボタン

ボタンを押すと、入力感度を30 dB減衰させます。ワイヤレスチューナーなど、信号レベルの大きい機器を接続するときを使用します。

② [STEREO INPUT 1, 2, 3, 4A]ステレオ入力端子 1, 2, 3, 4A(ステレオピンジャック)

カセットデッキやCDプレーヤーなどのステレオ出力機器を接続します。

※誤動作防止のため、STEREO INPUT 4B ③と本端子は同時に使用しないでください。

③ [STEREO INPUT 4B]ステレオ入力端子 4B (OPTICAL入力)(44.1 kHz, 48 kHzサンプリング対応)

CDプレーヤーやMDレコーダーなどの光デジタル信号を出力する機器を接続します。接続には別売の光ケーブルを使用してください。

光デジタル信号が入力されるとSTEREO INPUT入力信号ランプが赤色に点灯する場合がありますが、異常ではありません。

※誤動作防止のため、STEREO INPUT 4A ②と本端子は同時に使用しないでください。

④ [REMOTE I/O]リモートイン/アウト端子 (D-SUB 25P メス)

外部からの入出力制御信号の接続端子です。(☞10ページ)

⑤ [MR IN1, 2]ミキサーコントローラー入力端子1, 2 (RJ-45モジュラー)

(別売)ミキサーコントローラー **PS-MR50** を接続時 I/F 基板を取り付けます。その場合、**PS-DM500** の内部接続が必要ですので、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口へご相談ください。

⑥ [SIGNAL GND]接地端子

システム配線時に、機器同士のシャーシアースをとる場合に使用します。不用意に接地しますとハム音などの原因になります。安全アースではありません。

⑦ [RS-232C]RS-232C端子(D-SUB 9P オス)

本機とパソコンを接続し、「サウンドコーディネーター」による設定をするときに使用します。

※操作部のUSB端子(☞6ページ)と同時に使用することはできません。

⑧ [REC OUT OPTICAL OUT B]

録音用デジタル信号出力端子(OPTICAL出力)(48 kHzサンプリング出力)

MDレコーダーなどの光デジタル機器への録音用信号出力端子です。接続には別売の光ケーブルを使用してください。

※誤動作防止のため、REC OUT A ⑨と本端子は同時に使用しないでください。

⑨ [REC OUT A]録音用アナログ信号出力端子 (ステレオピンジャック)

カセットデッキなどへの録音用アナログ信号出力端子です。

※誤動作防止のため、REC OUT OPTICAL OUT B ⑧と本端子は同時に使用しないでください。

⑩ [OUTPUT 1A, 1B, 2A, 2B, 3, 4]

ミキサー出力端子(φ6.3 複式フォンジャック)

ミキサー出力でパワーアンプなどへ接続します。

メモ

録音端子使用時のご注意

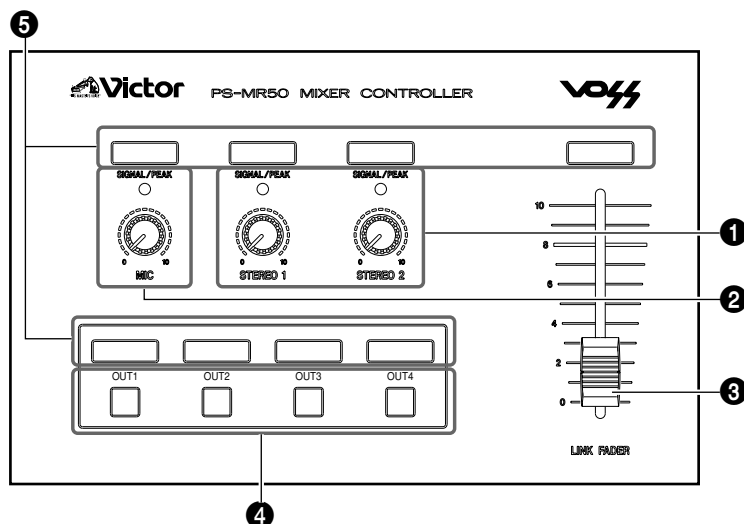
- MDデッキなどで録音用の出力端子とステレオ入力端子を同時に接続すると、信号がループして発振します。その場合は、マトリックスの設定で、入力端子の録音系統へのアサインをOFFにしてご使用下さい。

ミキサーコントローラー PS-MR50

各部の名称とはたらき

ミキサーコントローラー**PS-MR50**を使用する場合、デジタルミキサー**PS-DM500**の内部接続が必要ですので、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口へご相談ください。

■ 操作部



① [STEREO 1, 2] [SIGNAL/PEAK] ステレオ 1, 2 音量調節ボリューム／ステレオ 1, 2 入力信号ランプ

本機に接続するCDプレーヤー、カセットデッキなどの音量を調節します。SIGNAL/PEAKランプが赤色点灯した場合は、入力レベルが過大です。緑色に点灯するよう調節してください。

② [MIC] [SIGNAL/PEAK] マイク音量調節ボリューム／マイク出力信号ランプ

本機に接続したマイクロホンの音量を調節します。SIGNAL/PEAKランプが赤色点灯した場合は入力レベルが過大です。緑色に点灯するよう調節してください。

③ [LINK FADER] リモート音量フェーダーつまみ PS-MR50を接続したPS-DM500の出力音量を調節します。「サウンドコーディネーター」で本機から音量調節できる出力先を設定します。

④ [OUT1～OUT4] 出力選択ボタン

PS-MR50の音声信号の出力先を選択します。約1秒間押しとランプが点灯しその出力系統に本機の信号が出力されます。再度約1秒間押しと、ランプが消灯し、出力されなくなります。

複数の出力先を選択することもできます。また、「サウンドコーディネーター」で本機のマイク信号のみやステレオ信号のみを選択することもできます。

メモ

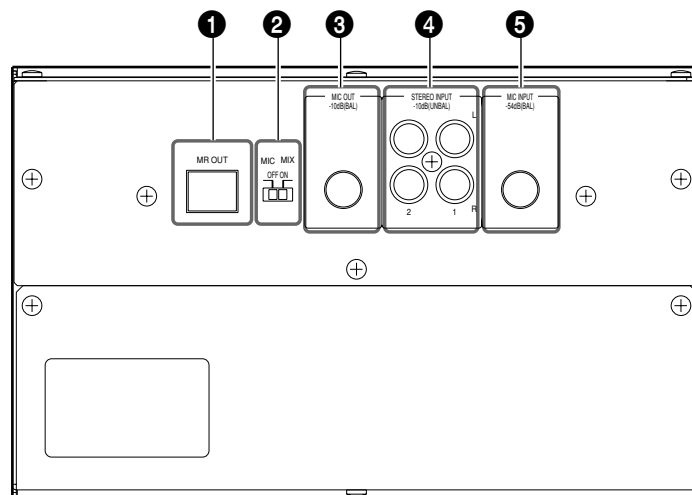
- 出力選択ボタンは、「サウンドコーディネーター」のSW LINKの設定によって、選択できる入力が異なります。
 - ・SW LINK OFF時：マイク入力、ステレオ入力を出力。
 - ・SW LINK ON時：マイク入力を出力。ステレオ入力は「サウンドコーディネーター」のマトリックス画面で出力選択できます。

⑤ 名称表示部

入力および出力機器の名称を表示する場所です。ラベルテープなどでシールを作成し、はり付けてご使用ください。表示部のサイズは、幅18 mm×高さ6 mmです。

■ 接続端子部

設置する場所により、接続端子部を移動させることができます。(P.11 ページ)



① [MR OUT] デジタル信号入出力端子 (RJ-45モジュラー)

PS-MR50のデジタル信号入出力端子です。**PS-DM500**との接続ケーブルはストレート結線のシールド付カテゴリ-5(STP)を使用してください。ケーブル長は、100 m以下でご使用ください。

② [MIC MIX ON/OFF] マイクミックス ON/OFF スイッチ

マイクロホン信号とステレオ信号を混合(MIX)して**PS-DM500**へ送出的るときは“ON”にします。このときは、**PS-MR50**へ接続のマイクロホンにはハウリングサプレッサー機能が使用できません。

③ [MIC OUT] マイク出力端子(複式フォンジャック)

マイクロホンの信号が出力されます。**PS-MR50**接続のマイクロホンにハウリングサプレッサー機能を有効にするときは、**PS-DM500**のMONO INPUTへ平衡接続します。このとき、② MIC MIX ON/OFFスイッチは“OFF”に設定してください。

PS-DM500のMR IN1へ接続した**PS-MR50**はMONO1に接続します。MR IN2に接続した2台目の**PS-MR50**は、MONO2へ接続します。

PS-MR50の出力選択ボタンでマイクロホンの出力先を選択できます。出力先の設定は、サウンドコーディネーターで行います。

④ [STEREO INPUT] ステレオ入力端子 (ステレオピンジャック)

CDプレーヤー、カセットデッキなどを接続します。

⑤ [MIC INPUT] マイク入力端子 (φ6.3複式フォンジャック)

平衡型マイクロホンを複式フォンプラグで接続します。

※不平衡フォンプラグ(単頭)は接続しないでください。

マイクロホンの詳細につきましては、ご使用のマイクロホンの取扱説明書をご覧ください。

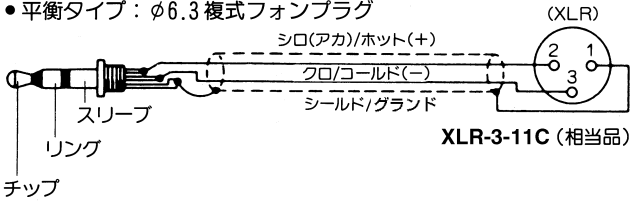
接続コネクタおよびケーブルの詳細につきましては、10ページ「接続コネクタおよびケーブルについて」をご覧ください。

接続

接続コネクタおよびケーブルについて

MONO INPUT の接続

- 平衡タイプ：φ6.3 複式フォンプラグ



- マイクロホンなどは平衡タイプをご使用ください。接続ケーブルを製作するときには、左図を参考に平衡接続としてください。

メモ

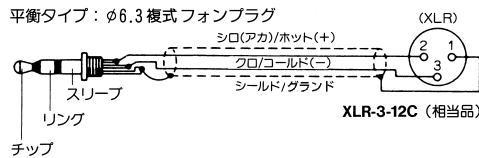
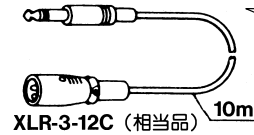
入力信号ランプが“赤色”に点灯した場合、入力信号レベルが過大です。入力機器の出力レベルを下げるか、**PS-DM500** 背面の入力 PAD スイッチ (30 dB) を“ON”にし、入力信号ランプが“緑色”に点灯するように入力機器の出力レベルを調整してください。

また、「サウンドコーディネーター」の、INPUT TRIM (入力感度) で細かく設定できます。

(※ **PS-DM500** 添付 CD-ROM)

CN-5003フォンプラグ

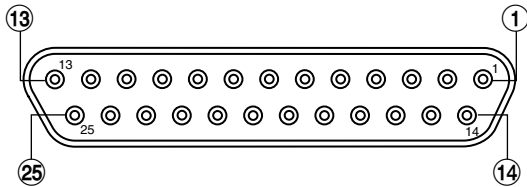
- φ6.3 複式



- パワーアンプの入力コネクタが、XLR コネクタ (平衡入力) の場合は、左図のような接続ケーブルをご使用ください。

REMOTE I/O 端子の接続(D-SUB 25P)

D-SUB25P(オス)ピン配置[半田接続面]



ピン番号	内容	ピン番号	内容
1, 2	GND	22, 23	GND
3~10	パターン選択入力-1~8	24	P.R.-H
11~13	GND	25	P.R.-C
14~21	出力-1~8		

■パターンセレクター PS-VU16 の接続

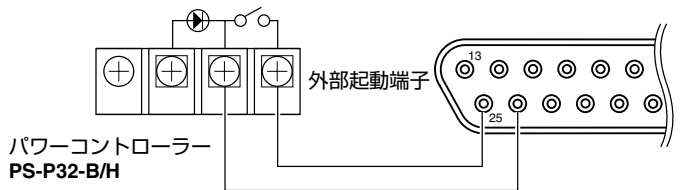
- **PS-VU16** PATTERN CONTROL 端子

内容	ピン番号
GND	1
BIT 1	2
BIT 2	3
BIT 3	4
BIT 4	5
BIT 2桁目	6
未接続	7
ストロープ	8

- **PS-DM500** REMOTE I/O 端子

ピン番号	内容
2	GND
3	パターン選択入力-1
4	パターン選択入力-2
5	パターン選択入力-3
6	パターン選択入力-4
7	パターン選択入力-5
8	パターン選択入力-6

- 接続ワイヤーには、AWG 24 撚り線をご使用ください。ケーブル長は最大 50 m です。
- 入力制御は、パターン選択入力-1~8の端子とGNDを短絡すると、メモリーに設定されたパターン1~8に切り換わります。パターンセレクター **PS-VU16** (別売り) を接続すると、16パターンを切り換えることができます。その場合、「サウンドコーディネーター」で、パターンセレクター (PS-VU16) の使用設定を行ってください。
- リモートアウト 1~8 端子は、「サウンドコーディネーター」で、パターンごとに設定された状態が出力されます。(オープンコレクター：MAX35 V, 30 mA)
- 24：P.R.-H、25：P.R.-Cは、パワーコントローラー **PS-P32-B**、**PS-P32-H** 制御用端子です。接続は下図をご覧ください。

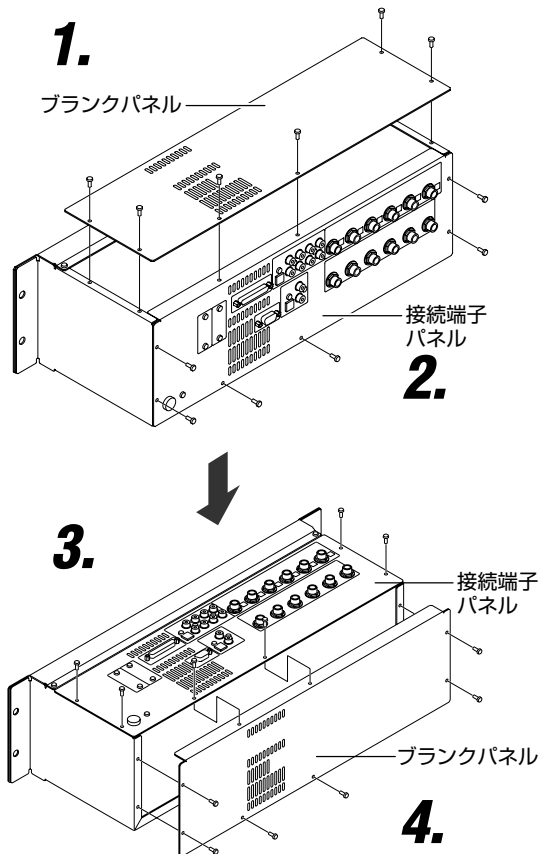


メモ

リモートイン/アウト端子と機器の接続は、お買い上げ販売店、または、最寄りのビクターサービス窓口へご相談ください。

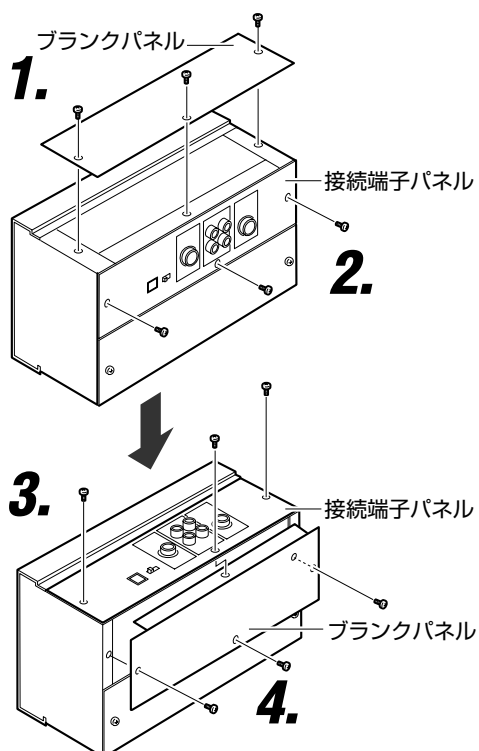
接続端子部の移動

デジタルミキサー PS-DM500



- 1.** 移動先のblankパネルのネジをはずし、blankパネルをはずす。
- 2.** 接続端子パネルのネジをはずす。
- 3.** 内部のワイヤーに注意しながら接続端子パネルを移動し、ネジで固定する。
- 4.** 手順**1.**でははずしたblankパネルを接続端子パネルのあった位置にネジで固定する。

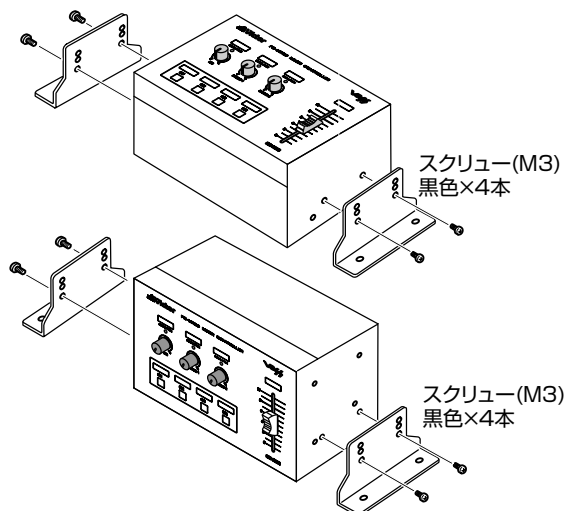
ミキサーコントローラー PS-MR50



- 1.** 移動先のblankパネルのネジをはずし、blankパネルをはずす。
- 2.** 接続端子パネルのネジをはずす。
- 3.** 内部のワイヤーに注意しながら接続端子パネルを移動し、ネジで固定する。
- 4.** 手順**1.**でははずしたblankパネルを接続端子パネルのあった位置にネジで固定する。

接続(つづき)／システム設定

設置場所への固定(PS-MR50)



- ミキサーコントローラー **PS-MR50** を固定するときは、付属の固定用金具を使用して固定します。
- 固定用金具は、取り付け位置により水平:10°、15°の角度調節が可能です。

メモ

テーブルなどに埋め込み固定するときは、別売りのラックマウント金具 **PS-RU13** をご使用ください。

デジタルエフェクト機能について

PS-DM500 に添付のCD-ROMに収録されているシステム設定用ソフトウェア「サウンドコーディネーター」を使用し、**PS-DM500** 搭載のデジタルエフェクト機能を細かく設定できます。

お客様の使用状態に合わせた以下の代表的な設定例を「サウンドコーディネーター」に登録してあります。

- 中小規模体育館向け〈メインスピーカー+サブスピーカーの組み合わせシステム〉
- アミューズメント店舗向け〈ステレオ2元システム〉
- 遠隔会議システム向け〈メインスピーカー+サブスピーカーの組み合わせシステム〉

「サウンドコーディネーター」を使用してこれらのデータをご利用頂くと便利です。

くわしい機能および設定については、添付CD-ROMの「ユーザーズガイド」をご覧ください。

(P.15 ページ ユーザーズガイドをみる)

■デジタルエフェクト機能の概要と工場出荷時設定状態

MONO INPUT TRIM(モノインプットトリム)

入力信号を減衰させるトリムを、MONO INPUT1～6に搭載しています。

機能	内蔵回路	設定範囲	工場出荷時
INPUT TRIM(入力感度)	MONO INPUT 1～6	-54 dB～-30 dB	-40 dB

MONO INPUT EQ(モノラル入カイコライザー)

モノ入力ごとに搭載しています。

イコライザー形式	パラメーター	設定範囲とステップ	工場出荷時
LOW シェルピングタイプEQ	カットオフ周波数	40 Hz～2 kHz、1/6 oct Step	100 Hz
	利得(G)	-15 dB～+15 dB、0.5 dB Step	0 dB
MID ピーキングタイプEQ	中心周波数	40 Hz～18 kHz、1/6 oct Step	2 kHz
	尖鋭度(Q)	0.5～1.5、0.1 Step 1.5～5.0、0.5 Step 5.0～10.0、1.0 Step、12.0	0.7
	利得(G)	-15 dB～+15 dB、0.5 dB Step	0 dB
HIGH シェルピングタイプEQ	カットオフ周波数	2 kHz～18 kHz、1/6 oct Step	10 kHz
	利得(G)	-15 dB～+15 dB、0.5 dB Step	0 dB

■デジタルエフェクト機能の概要と工場出荷時設定状態(つづき)

STEREO-INPUT EQ(ステレオ入力イコライザー)

ステレオ入力ごとに搭載しています。

イコライザー形式	パラメーター	設定範囲とステップ	工場出荷時
LOW シェルビングタイプEQ	カットオフ周波数	40 Hz~2 kHz、 1/6 oct Step	100 Hz
	利得(G)	-15 dB~+15 dB、0.5 dB Step	0 dB
HIGH シェルビングタイプEQ	カットオフ周波数	2 kHz~18 kHz、1/6 oct Step	10 kHz
	利得(G)	-15 dB~+15 dB、0.5 dB Step	0 dB

MATRIX(マトリックス)

MONO INPUT、STEREO INPUT を設定します。(工場出荷時：OUT1~4 全て ON、REC OUT は、OUT1 のみ ON)

ハウリングサプレッサー(H.SUP)

音場の残響特性、伝送特性など固有のハウリング周波数や抑圧レベルを分析して、プリセットフィルター4素子を設定し、音場固有のハウリングを抑制します。システム使用中にハウリングが発生すると2素子のアクティブフィルターが自動的に追従(自動計測)し、ハウリングを抑制します。

また、自動計測は、「サウンドコーディネーター」からでも実行できます。(工場出荷時：ON、プリセットフィルター未設定)

ご注意

- ・ハウリングサプレッサーがONのとき、プリセットフィルター未設定でもアクティブフィルターは動作しますので正弦波やテストトーンなどを使用される場合は、OFFにしてください。

〈ハウリングサプレッサー自動測定手順〉

1. PS-DM500 の出力音量を調節する

- ・OUT 1、OUT 2 出力音量調節フェーダーつまみを8の位置に設定します。
- ・OUT 3、OUT 4 出力音量調節つまみを3時の位置に設定します。

2. MONO INPUT フェーダーつまみを8の位置に設定する

3. パワーアンプの出力音量を調節する

マイクロホンで声を出しながら、パワーアンプの出力音量を少しずつ上げ、必要な音量になるよう調節してください。

*この時、手を“パン”とたたき、ハウリングが発生しないことを確認してください。

4. MONO INPUT フェーダーつまみを0の位置に設定する

5. 自動測定を行う

PS-DM500 操作部のメモリーパターン切換スイッチ“A”、“C”、“D”(☞6ページ)を同時に2秒以上押します。メモリーパターン切換スイッチ“A”、“C”、“D”が点灯し、自動測定が始まります。

自動測定が終了すると、スイッチは消灯します。

*自動測定は、マイクロホンとスピーカーの距離を5m以上離し、無音の状態で行なってください。

【自動測定中にエラーになった場合】

メモリーパターン切換スイッチ“A”、“B”、“C”、“D”全てが点灯した場合は測定エラーです。

機器の破損を防ぐため、自動測定は中止され測定データは無効となります。

測定エラーになった場合は、マイクロホンの向き、スピーカーの向き、パワーアンプの出力音量などを再度調節し、手順1.からやり直してください。

ご注意

- ・拡声レベルが極端に上がっていたり、マイクロホンとスピーカーが接近しすぎていると、PS-DM500のハウリングサプレッサーの自動計測が正確に行えない場合があります。十分な効果を得るため、自動計測は、本番と同じ状態(スピーカーやマイクロホンの位置)で行ってください。

アナウンスミュート(A.MUTING)

指定したMONO INPUTに音声信号が入ると、自動的に選択したステレオ入力信号(CD、カセットなど)の音量をミュート(減衰)させ、目的のアナウンスを明瞭に放送することができます。MONO INPUTの信号がなくなると、自動的に元の音量に戻ります。

アナウンスミュートを起動するMONO INPUTの指定、ミュート(減衰)量を設定します。

(工場出荷時：OFF)

ミュージックミュート(M.MUTING)

指定のSTEREO INPUTに音楽などの信号が入力されると、他のSTEREO INPUTに入力されていた音楽などを自動的にフェードアウトします。指定のSTEREO INPUT信号がなくなると、元の音量にフェードインして復旧します。

入力の指定は、サウンドコーディネーターで設定します。(工場出荷時：OFF)

システム設定(つづき)

デジタルエフェクト機能について(つづき)

■デジタルエフェクト機能の概要と工場出荷時設定状態(つづき)

OUTPUT EQ(アウトプットイコライザー)

パワーアンプ、スピーカーシステム、音場などの特性に対応させる出力イコライザーです。

6素子のイコライザーを出力系統ごとに搭載しています。6素子を以下の形式から個別に選択できます。

イコライザー形式	パラメーター	設定範囲とステップ
ピーキングEQ	中心周波数	40 Hz~18 kHz、1/6 oct Step
	尖鋭度(Q)	0.5~1.5、0.1 Step 1.5~5.0、0.5 Step 5.0~10.0、1.0 Step、12.0
	利得(G)	-15 dB~+15 dB、0.5 dB Step
ローカットフィルター(LCF) スロープ=12dB/oct、尖鋭度(Q)=0.7	カットオフ周波数	40 Hz~18 kHz、1/6 oct Step
ハイカットフィルター(HCF) スロープ=12dB/oct、尖鋭度(Q)=0.7	カットオフ周波数	40 Hz~18 kHz、1/6 oct Step
LOW シェルビングタイプEQ	カットオフ周波数	40 Hz~18 kHz、1/6 oct Step
	利得(G)	-15 dB~+15 dB、0.5 dB Step
HIGH シェルビングタイプEQ	カットオフ周波数	40 Hz~18 kHz、1/6 oct Step
	利得(G)	-15 dB~+15 dB、0.5 dB Step

ピーキングEQ 工場出荷時の値

イコライザー形式 : 全てピーキングEQ
 尖鋭度 : 全て0.7
 中心周波数1 : 40 Hz
 中心周波数2 : 100 Hz
 中心周波数3 : 500 Hz
 中心周波数4 : 2 kHz
 中心周波数5 : 5 kHz
 中心周波数6 : 10 kHz

DELAY(ディレイ)

サブスピーカーへの出力信号をメインスピーカーの出力に対し時間の遅れを発生させ、音像を前面に定位させるなどのディレイ時間を設定します。

機能	内蔵回路	設定範囲とステップ	工場出荷時
DELAY TIME(遅延時間)	OUT-1A、1B ~4	0~300 msec、1 msec Step	0 msec

OUT1・OUT2 出力形式選択(MONO/STEREO)

OUT1、およびOUT2の出力形式をモノラルまたはステレオに選択指定します。

ステレオのときは、AにLch(左)、BにRch(右)が出力されます。(工場出荷時: STEREO)

A/B バランス(OUTPUT1, 2の各A/B)

出力Aと出力Bの、出力信号のバランスを設定できます。

機能	内蔵回路	設定範囲	工場出荷時
A/Bバランス	OUT1、OUT2	0 dB~-20.1 dB	0 dB

外部入力制御(リモートイン)

パターン切り換えにパターンセレクター **PS-VU16** を使用するか、個別選択入力にするかを選択できます。

タイマー制御による自動放送や制御信号に対応した放送パターン自動選択システムなどに利用できます。

(工場出荷時: 個別選択モード)

外部出力制御(リモートアウト)

パターンごとに外部制御出力のON/OFFを設定できます。

出力は、オープンコレクター(最大電圧=35 V、最大許容電流=30 mA)です。制御する機器の仕様に十分注意してください。(工場出荷時: 全てOFF)

パターンメモリー

最大16種類の設定されたパラメーターをパターンメモリーに記憶します。(工場出荷時は16パターン全てが工場出荷時の値に設定されています。)

「ユーザーズガイド」をみる

デジタルエフェクト機能のパラメーターの設定方法などの詳細は「ユーザーズガイド」(添付CD-ROM)に記載されています。システム設定を始める前に必ずご覧ください。

1. パソコンの電源を入れWindowsを起動する

メモ

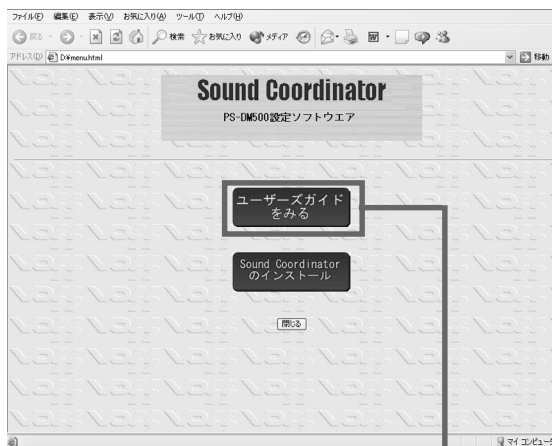
- メニュー画面が表示されない場合は以下の手順で表示させます。
 1. 「スタート」をクリック
 2. 「ファイル名を指定して実行」をクリック
 3. 名前のボックスに「D: ¥index.html」と入力する。(CD-ROMのドライブ名が“D”のとき)
 4. 「ENTER」キーを押す
 5. メニュー画面が表示される

2. 添付CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへ入れる

- 自動的にメニュー画面が表示されます。(オートラン)

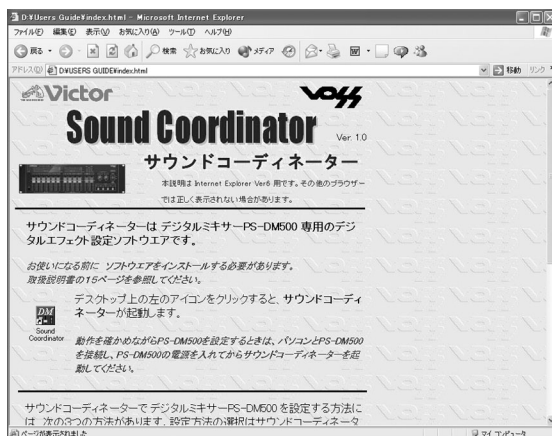
3. 「ユーザーズガイドをみる」をクリックする

- ファイルが読み込まれ、「ユーザーズガイド」トップページ画面が表示されます。



「メニュー」画面

クリック



「ユーザーズガイド」トップページ画面

システム設定(つづき)

「Sound Coordinator」(サウンドコーディネーター)のインストール

デジタルエフェクター機能などのパラメーター設定は、「サウンドコーディネーター」(添付CD-ROM)で行います。設定前にパソコンにインストールします。

■接続可能なパソコンの仕様

OS : Windows XP Home Edition SP1(JP)
Windows XP Professional SP1(JP)

CPU : Pentium III 400MHz以上

メモリ : 128MB以上

ハードディスク : 添付アプリケーションのインストールに50MB以上の空き容量が必要です。

モニター : 800 × 600ピクセル以上必須
CD-ROMドライブ/USB端子付

※ Internet ExplorerはVer.6.0で動作確認をおこなっています。

文字が重なって表示される場合は、Internet Explorerの文字サイズの設定を小さくしてご使用ください。

1. パソコンの電源を入れWindowsを起動する

2. 添付CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへ入れる

- 自動的にメニュー画面が表示されます。

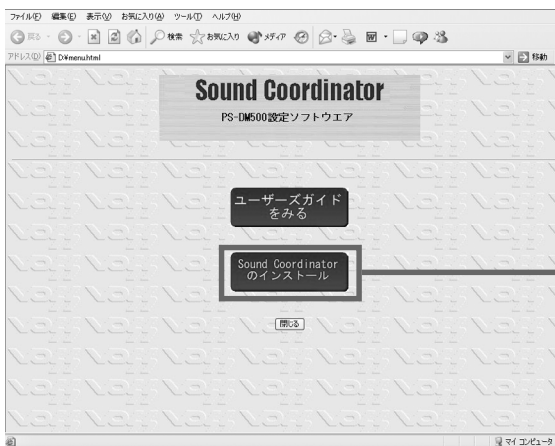
メモ

- メニュー画面が表示されない場合は以下の手順で表示させます。

1. 「スタート」をクリック
2. 「ファイル名を指定して実行」をクリック
3. 名前のボックスに「D: ¥index.html」と入力する。(CD-ROMのドライブ名が「D」のとき)
4. 「ENTER」キーを押す
5. メニュー画面が表示される

3. 「Sound Coordinatorのインストール」をクリックする

- 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。



「メニュー」画面

クリック

4. 「開く(O)」をクリックする

- 「Sound Coordinator セットアップウィザード」画面が表示されます。

メモ

- 「サウンドコーディネーター」をインストールし直す場合、必ず以下の手順で「サウンドコーディネーター」を削除してから、インストールし直してください。

- ・「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」を開く。
- ・「サウンドコーディネーター」を削除する。



「ファイルのダウンロード」画面

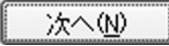
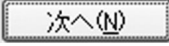
クリック



「Sound Coordinator セットアップウィザード」画面

クリック

5. 画面ガイドの指示に従って操作する

- 「Sound Coordinator セットアップウィザード」画面で、 をクリックします。
- 「インストール確認画面が表示されます。 をクリックします。
- インストールが始まります
- インストールが終了すると、「インストール完了」画面が表示されます。



「インストール確認」画面

クリック



「インストール完了」画面

クリック

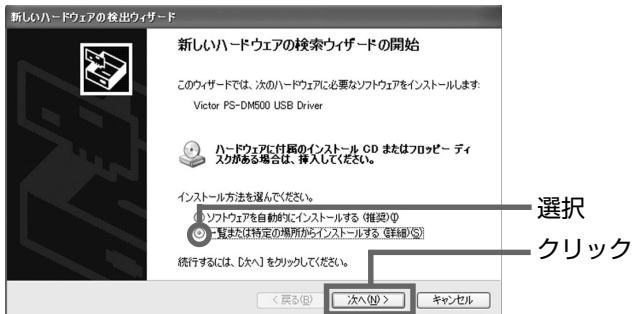
6. をクリックする

- インストールを完了します。

システム設定(つづき)

USB ドライバーのインストール

パソコンとデジタルミキサー **PS-DM500** を USB 端子で接続する場合、USB ドライバーのインストールが必要となります。パソコンを起動させた状態で、デジタルミキサー **PS-DM500** を USB ケーブルで接続するとインストール画面が表示されます。以下の手順でインストールを行ってください。



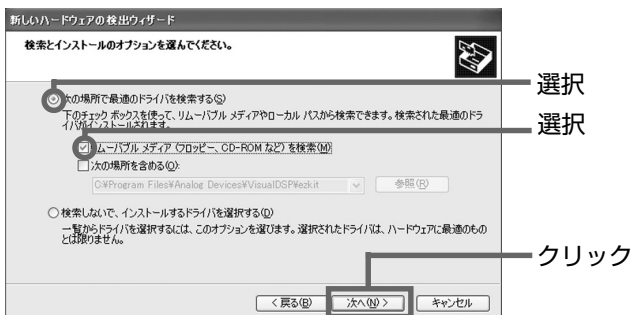
「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」画面

1. メニュー画面を表示させる(☞ 15ページ)

- CD-ROM を入れると自動的にメニュー画面が表示されます。

2. パソコンとPS-DM500をUSBケーブルで接続する

- 自動的に「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」画面が表示されます。「一覧または特定の場所からインストールする」を選択します。
- **次へ(N) >** をクリックします。



「検索とインストールのオプション選択」画面

3. 検索とインストールオプションを選択する

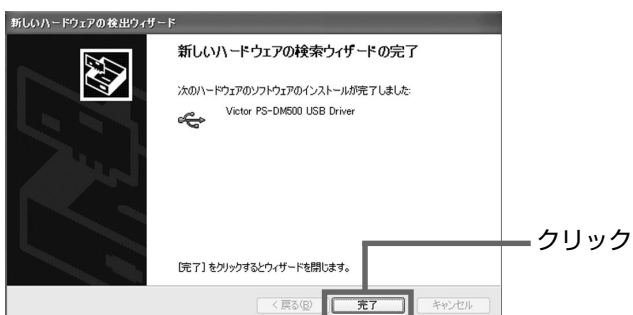
- 「次の場所で最適なドライバを検索する」を選択します。
- 「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索」を選択します。
- **次へ(N) >** をクリックします。



「ハードウェアのインストール」画面

4. インストールを開始する

- 「ハードウェアのインストール」画面が表示されます。
- **続行(C)** をクリックします。



「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」画面

5. インストールの完了

- 「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」画面が表示されます。
- **完了** をクリックします。

「Sound Coordinator」(サウンドコーディネーター)の起動

※パソコンと PS-DM500 を接続中は、PS-DM500 の電源を切らないでください。

1. 電源を入れWindowsを起動する

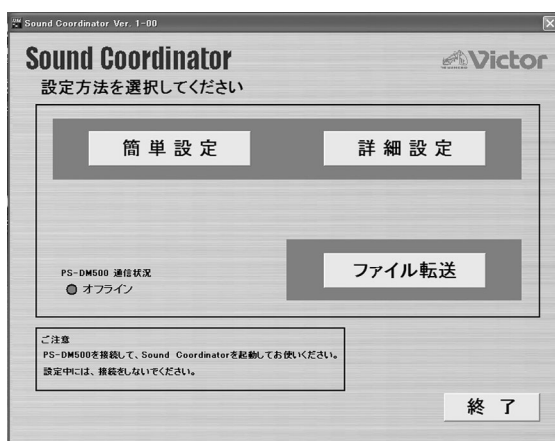
- 「サウンドコーディネーター」をインストールしたパソコンを立ち上げます。(P.16 ページ)

2. デスクトップのアイコンをクリックする

- 「サウンドコーディネーターシステム設定」スタート画面が表示されます。



Sound Coordinator



「サウンドコーディネーターシステム設定」スタート画面

3. システム設定をする

- 「サウンドコーディネーター」では、以下の設定を行います。

「簡単設定」

ガイドランスに従って次の4項目を行う簡単な設定です。

- ①入力と出力の関係(マトリックス)を選択設定
- ②使用スピーカーを選択(最適な音質を自動設定)
- ③マイクロホンの音質を設定(ナチュラル、クリア、フラット)
 - ※ 入力PADボタンをONでご使用の場合、マイクの音質設定はOFFになります。ワイヤレスマイクなどを接続している場合は、詳細設定のINPUT画面でマイクの音質設定を行なってください。
- ④ハウリングサプレッサー設定(自動測定と自動設定)

「詳細設定」

搭載している全てのデジタルエフェクト機能などを細かく設定する詳細設定です。

「ファイル転送」

パソコンに保存されている設定パラメーターを PS-DM500 に転送し、設定することができます。

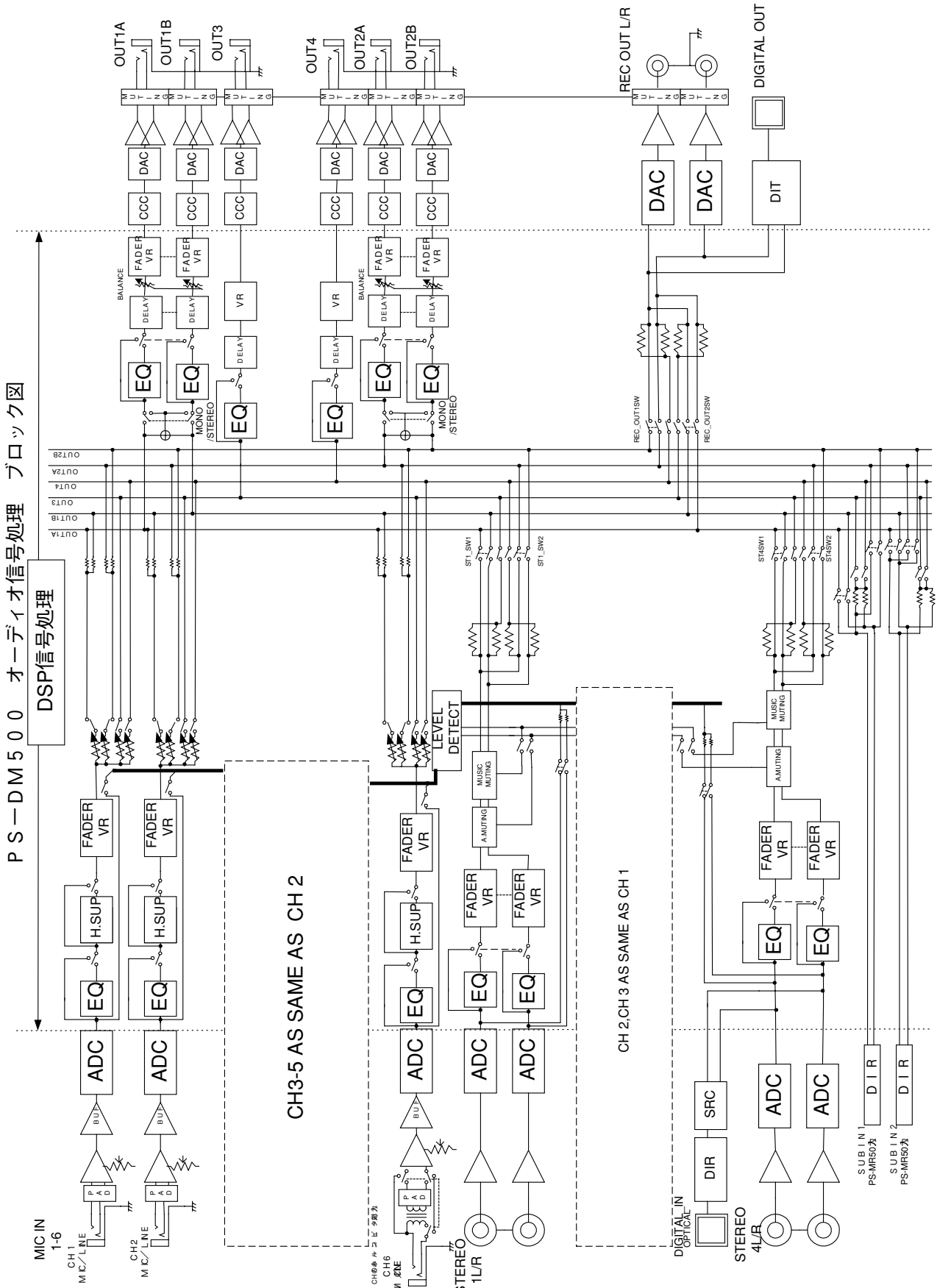
メモ

- PS-DM500 のシステム設定は、すべてこのスタート画面から始めます。
- サウンドシステムの電源、および PS-DM500 の電源が “ON” になっている状態で、「サウンドコーディネーター」を起動し、設定を行うと設定がリアルタイムで反映され、サウンドシステムのスピーカー音変化で動作状態を確認できます。
- パソコンの接続は、「サウンドコーディネーター」起動前に行ってください。接続が正しく行われ通信状態が確立されると画面内に「オンライン中」と表示されます。
- PS-DM500 に接続しないで設定を行うこともできます。その場合、一部設定できない機能があります。
- システム設定および詳細機能につきましては、「ユーザズガイド」(添付 CD-ROM) をご覧ください。

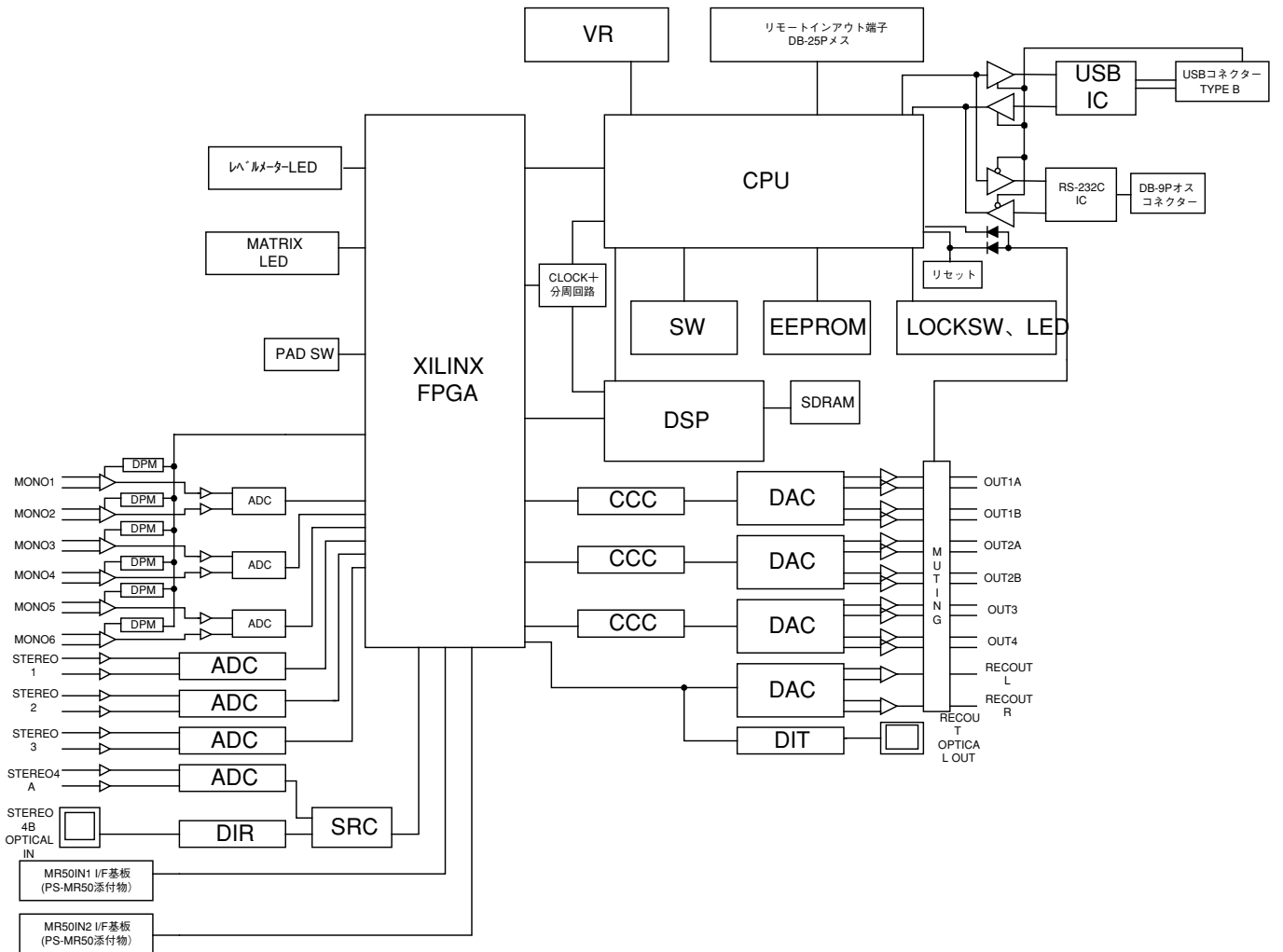
その他

ブロック図

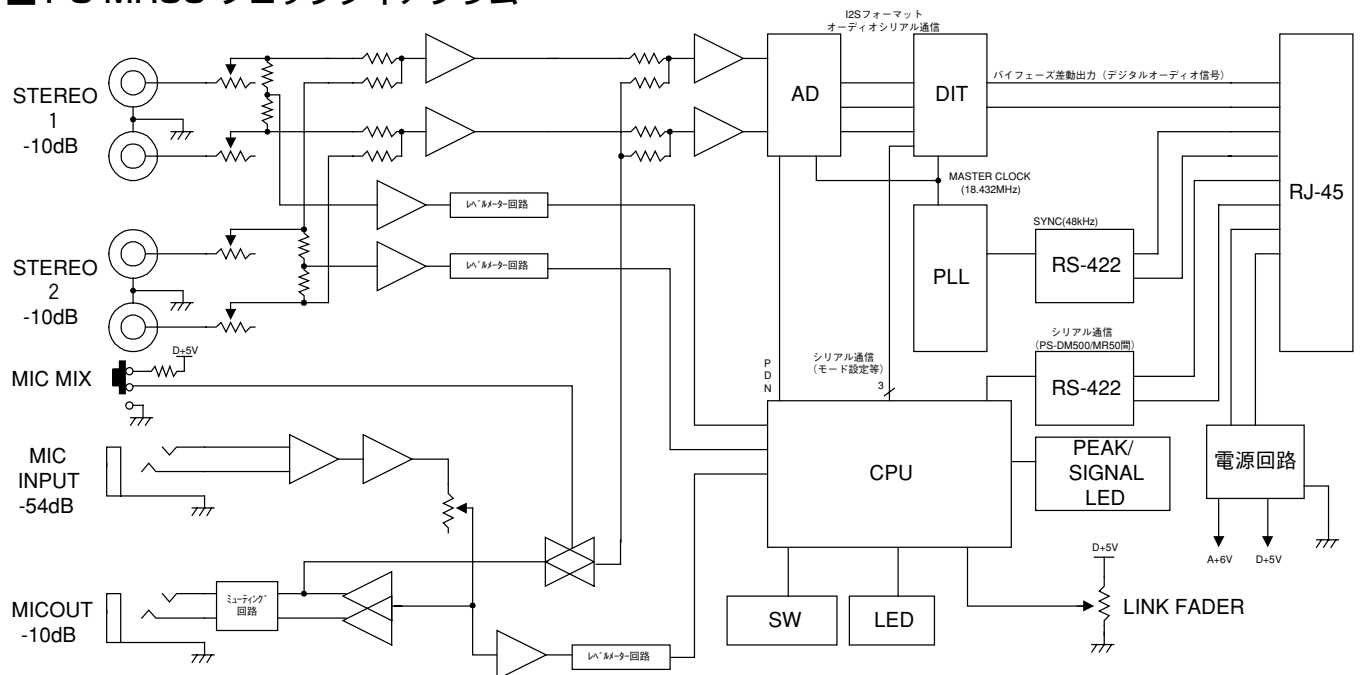
■ PS-DM500 オーディオ信号処理ブロックダイアグラム



■ PS-DM500 ブロックダイアグラム

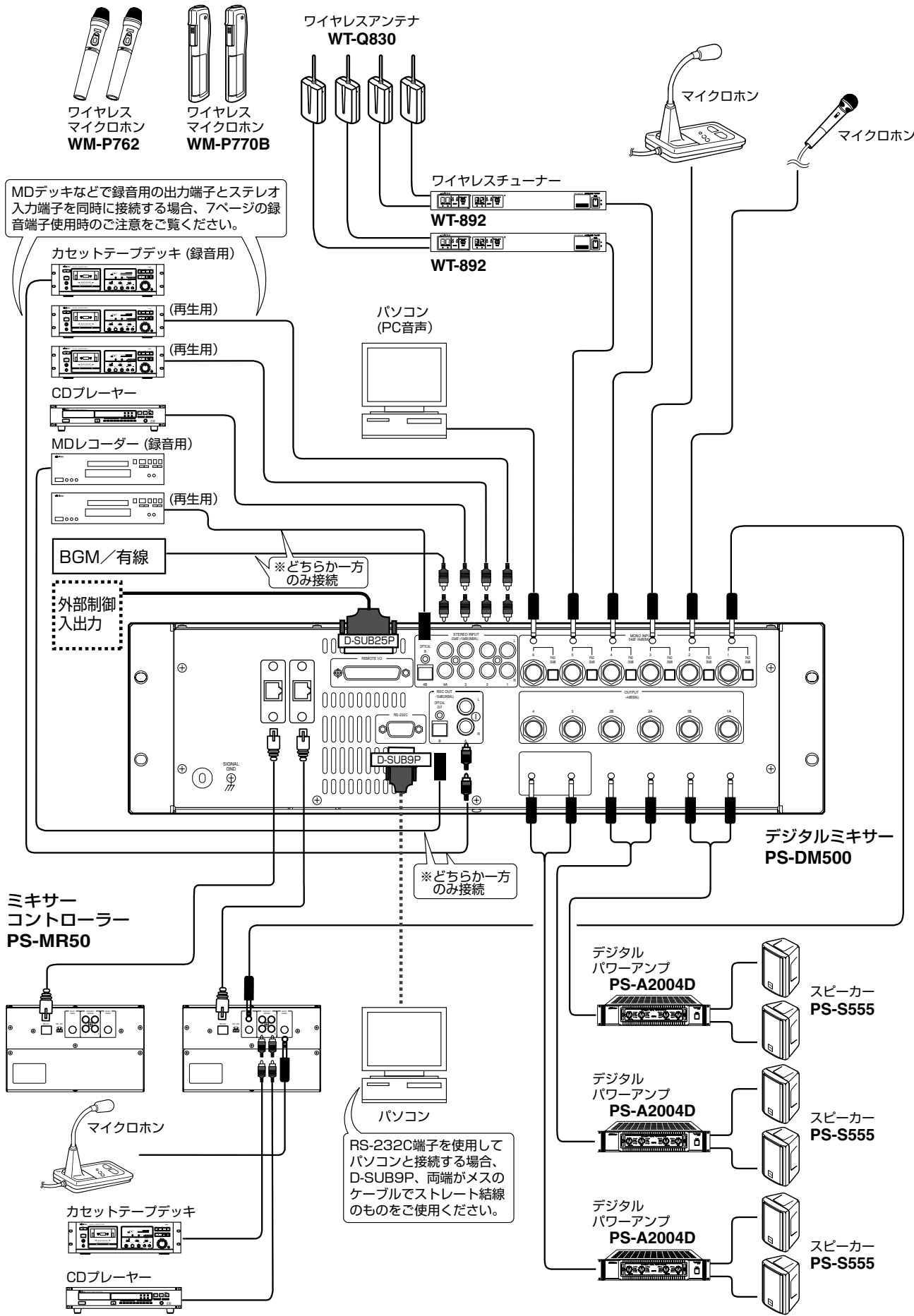


■ PS-MR50 ブロックダイアグラム



その他(つづき)

システム接続例



仕様

デジタルミキサー PS-DM500

0dB = 0.775 Vrms

■ モノラル入力部

MONO INPUT 1~5 (PAD(30dB))	: -54 dB~-30 dB±3 dB、4.7 kΩ、電子平衡(複式フォンジャック)
MONO INPUT 6 (PAD(30dB))	: -54 dB~-30 dB±3 dB、10 kΩ、トランス平衡(複式フォンジャック)
INPUT TRIM	: -54 dB~-30 dB
INPUT EQ(イコライザー)	
LOW	: シェルビング、カットオフ周波数: 40 Hz~2 kHz (1/6 oct Step)
MID	: ピーキング、中心周波数: 40 Hz~18 kHz (1/6 oct Step)
HIGH	: シェルビング、カットオフ周波数: 2 kHz~18 kHz (1/6 oct Step)
ハウリングサプレッサー	: 4素子プリセットフィルター、2素子アクティブフィルター

■ ステレオ入力部

STEREO INPUT1~4A	: -10 dB±3 dB、10 kΩ(ステレオピンジャック)
STEREO INPUT 4B	: OPTICAL
INPUT EQ(イコライザー)	
LOW	: シェルビング、カットオフ周波数: 40 Hz~2 kHz (1/6 oct Step)
HIGH	: シェルビング、カットオフ周波数: 2 kHz~18 kHz (1/6 oct Step)

■ ミキサーコントローラー PS-MR50 入力部

MR IN1, MR IN2 : 複合入力 2回路(RJ-45)

■ 出力部

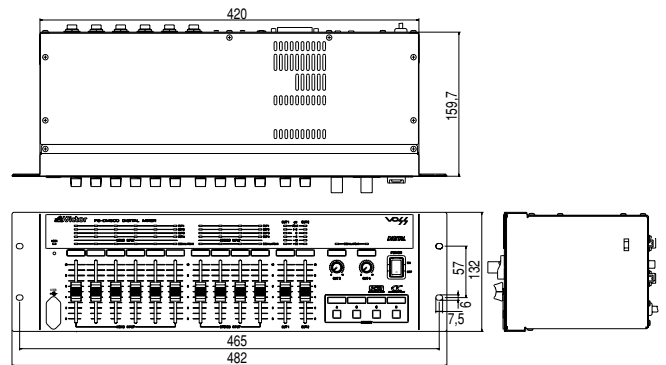
OUT 1~4	: +4 dB ±3 dB 10 kΩ、電子平衡(複式フォンジャック)
OUTPUT形式	
OUT1,2	: ステレオ/モノラル出力形式選択
OUT3,4	: モノラル出力
REC OUT-A L/R	: -10 dB ±3 dB、10 kΩ、不平衡(ステレオピンジャック)
REC OUT-B	: OPTICAL
OUTPUT EQ	: 6素子
(イコライザー)	
ピーキング、中心周波数: 40 Hz~18 kHz (1/6 oct Step)	
ローカット(LCF)、カットオフ周波数: 40 Hz~18 kHz (1/6 oct Step)	
ハイカット(HCF)、カットオフ周波数: 40 Hz~18 kHz (1/6 oct Step)	
LOWシェルビング、カットオフ周波数: 40 Hz~18 kHz (1/6 oct Step)	
HIGHシェルビング、カットオフ周波数: 40 Hz~18 kHz (1/6 oct Step)	

OUTPUT 1,2 バランス	: OUT1 A・B、OUT2 A・B : 0 dB~-20 dB
OUTPUTレベルメーター	: LED 6素子×2(OUT1,2)2色LED×2(OUT3,4)
ディレイタイム	: 0 ms~300 ms(1 ms Step)

■ 総合仕様

周波数特性	
MONO INPUT	: 100 Hz~10 kHz +0.5 dB、-3 dB(1 kHz基準)
STEREO INPUT	: 20 Hz~20 kHz +0.5 dB、-1 dB(1 kHz基準)
入力換算雑音	: -120 dB以下(MONO IN/OUT、IHF-A、150Ω短絡)
残留雑音	: -80 dB以下(OUT1~4、DIN-A、全フェーダー最小)
クロストーク	: 各入力、出力間にて -60 dB以下(7 kHz)
ミュート機能	: アナウンスミュート、ミュージックミュート
外部入出力端子	: 入力=8系統、出力=8系統(D-SUB25P)
パソコン接続端子	: USB: 1.1、RS-232C(D-SUB9P)同時使用は不可
電源・消費電力	: AC100 V 50 Hz/60 Hz、26 W
許容動作温度/許容動作湿度	: 5 °C~40 °C/30 %~80 %
外形寸法	: 482 mm(幅)×132 mm(高さ)×159.7 mm(奥行き)
質量	: 4.8 kg

■ 外形寸法図(単位: mm)



本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改善のため予告なしに変更することがあります。

ミキサーコントローラー PS-MR50(別売)

0 dB=0.775 Vrms

■ 入力部

MIC INPUT	: -54 dB ±3 dB 4.7 kΩ、電子平衡
STEREO INPUT	: (複式フォンジャック) -10 dB ±3 dB 10 kΩ、2回路 (ステレオピンジャック)

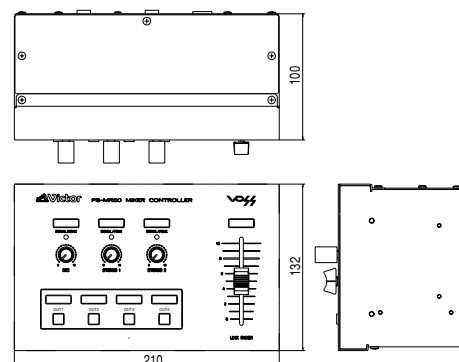
■ 出力部

デジタル通信出力 (PS-DM500接続端子)	: AUDIO: AES3、SYNC、DATA (RJ-45)
MIC OUTPUT	: -10 dB ±3 dB 10 kΩ、電子平衡 (複式フォンジャック)

■ 総合仕様

電源	: デジタルミキサー(PS-DM500)より供給、DC+16 V
外形寸法	: 210 mm(幅)×132 mm(高さ)×100 mm(奥行き)
質量	: 1.4 kg

■ 外形寸法図(単位: mm)



本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改善のため予告なしに変更することがあります。

その他(つづき)

保証とアフターサービス

保証書の記載内容のご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

● アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスにご不明の点は、お買い上げ販売店又は、別紙ビクターサービス窓口ご案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店又はビクターサービスにご相談ください。

- ・商品名：デジタルミキサー PS-DM500/
ミキサーコントローラー PS-MR50
- ・故障の状態をできるだけ詳しく：
- ・ご購入年月日：
- ・ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045) 450-8950 [代表]

FAX (045) 450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

日本ビクター株式会社
プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203